

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】令和3年3月11日(2021.3.11)

【公開番号】特開2020-112114(P2020-112114A)

【公開日】令和2年7月27日(2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-029

【出願番号】特願2019-4204(P2019-4204)

【国際特許分類】

F 04 D 29/70 (2006.01)

【F I】

F 04 D 29/70 N

【手続補正書】

【提出日】令和3年2月1日(2021.2.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

回転軸(113)と、前記回転軸が貫通する貫通部(116)が設けられた端部(112)と、を有し、前記回転軸に回転動力を与えるブラシ付きのモータ部(110)と、

前記回転軸のうち前記貫通部から突出した突出部(118)に固定されたファン部(130)と、

前記モータ部の前記端部と前記ファン部との間に設けられたカバー部(140)と、を含み、

前記モータ部は、外部から内部に冷却風を取り入れると共に、前記冷却風が前記端部側に流れることで前記内部が冷却される冷却機能を有し、

前記カバー部は、前記回転軸の軸周りを一周する環状であり、前記回転軸の径方向において少なくとも前記モータ部の側部(117)から前記貫通部までの長さを持ち、前記モータ部の内部で発生する摩耗粉を遮断するために当該長さ部分には貫通する孔が形成されていない送風機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

モータ部は、外部から内部に冷却風を取り入れると共に、冷却風が端部側に流れることで内部が冷却される冷却機能を有する。カバー部は、回転軸の軸周りを一周する環状であり、回転軸の径方向において少なくともモータ部の側部(117)から貫通部までの長さを持ち、モータ部の内部で発生する摩耗粉を遮断するために当該長さ部分には貫通する孔が形成されていない。